

令和7年度 地域連携推進会議（入所）議事録

日時：令和7年2月13日 17:00～17:30

場所：高森寮ミーティングルーム

参加者：福祉に知見を有する方 2名（社会福祉協議会、役場住民福祉課）

地域住民 1名（色見戸狩地区）

利用者家族 1名、

利用者 1名、

施設職員 4名（施設長、サービス管理責任者、事務長、事務員）

1. 推進委員紹介

名簿を参照し、参加者を紹介する。

2. 施設長挨拶

推進会議の目的について資料をもとに説明。構成員の任期は2年間とすることを確認する。

3. 会議内容

施設長より、施設入所利用者の障がいの種別、出身地、年齢について報告する。

高森寮は52年に知的障がい者の入所施設として創立し、天草などの遠方からの利用者も多くいました。現在は、郡内の利用者が増えています。（最高齢は94歳と聞き構成員の方は驚かれていた）

次に、サビ管職員から入所施設の利用者の生活や日課を紹介する。

午前中は歩行、爪切りなどのメンテナンス、午後からは入浴や間食、カラオケやゲーム（ボーリング）に取り組まれています。高森寮では基本的に時間を区切った日課は設けていません。高齢の利用者も多いので、長く歩いたりできない方もいらっしゃいます。一人ひとりに応じた日課に取り組めるようにしており、それに対応できるような職員配置をしています。

6. その他

地域住民の方から「こういう施設はどのくらいあるんですか？出身地が遠いところからきてる方がいるのであまりないのかなと思って。」と質問あり。施設長から「阿蘇郡市には小国町と阿蘇市に1か所ずつ、全部で3カ所あります。開設当時は県下2番目の施設だったのもあって、遠方からの利用者もいらっしゃいました。なので遠方の方は設当時から利用している方が多いです。40年以上いらっしゃいます。」と返答。

施設長より

現在、約 65 名の職員が頑張ってくれていてありがたいと思っています。入所施設やグループホーム、その他の事業で使用する食材や日用品などに毎月約 300 万程の支出があり、できるだけ地元で購入するようにし、地元に貢献できるように考えています。

また、昨年末に高森町内に子ども図書クラブを開設した。対象は障がい者ではないが、定款変更をして事業に追加しました。補助金ではなく、法人で運営していきます。今月 26 日に NHK のクマロクという番組が取材に来ますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

7. 施設見学の日程

2/17(火) 午前 1 名
17 時半～ 3 名

配布資料の見学時のポイントを確認していただく。